

心理学研究法Ⅱ(心理調査計画法)

科目ナンバリング PSY-204
選択必修 2単位

敷島 千鶴

1. 授業の概要(ねらい)

実証科学としての心理調査研究を遂行するにあたり、求められる専門的な方法を体系的に学びます。とくに、質問紙調査、社会調査の方法について習得します。仮説を立て、検証するために必要な手続きを正しく理解し、研究の倫理的配慮についても、事例を挙げて詳しく検討していきます。

2. 授業の到達目標

- 1.心理調査の計画を自ら立案することができる。
- 2.実際に知見を導出していくために必要な研究方法がわかる。

3. 成績評価の方法および基準

単元ごとに小テストを行い、その合計点で評価します。

4. 教科書・参考文献

参考文献

サトウタツヤ・鈴木直人編 『心理調査の基礎』 有斐閣を参考書とします。そのほか資料プリントを配布し、Web File Serverへアップロードします。

5. 準備学修の内容

授業前に指定した文献を読み、わからないことは自分で調べてから授業に臨むことを求めます。

6. その他履修上の注意事項

心理調査、とくに質問紙調査について専門的に学びたい方に履修を勧めます。履修志望者は初回の授業に必ず出席してください。

授業内に、実際に質問紙調査にご協力をお願いすることがあります。

7. 授業内容

- 【第1回】 ガイダンス
- 【第2回】 心理調査の考え方を学ぶ
- 【第3回】 問題の設定と仮説の構築について学ぶ
- 【第4回】 質問紙調査・実験・観察・面接・検査—各方法の特長について学ぶ
- 【第5回】 質問紙調査の方法について学ぶ(1)
- 【第6回】 質問紙調査の方法について学ぶ(2)
- 【第7回】 質問紙調査の方法について学ぶ(3)
- 【第8回】 質問紙調査の実施について学ぶ(1)
- 【第9回】 質問紙調査の実施について学ぶ(2)
- 【第10回】 尺度構成の方法について学ぶ
- 【第11回】 社会調査の方法について学ぶ(1)
- 【第12回】 社会調査の実施について学ぶ(2)
- 【第13回】 研究に求められる倫理的配慮—協力者の保護—について学ぶ
- 【第14回】 研究に求められる倫理的配慮—研究の公正さ—について学ぶ
- 【第15回】 まとめ